

目次

第一部 図版

第一図	縄文後・晩期と弥生前期の遺物 滑車型土製耳飾・縄文後期土器片・ 晩期の土偶・弥生初頭の土器	第九図四拓 第九図五A 第九図五拓 第九図六	上野谷田II遺跡 土器拓影 古照遺跡 縄文土器 古照遺跡 縄文拓影 西野I遺跡 縄文拓影	15
第二図	弥生中期の分銅型土製品と後期前半 の平形銅剣	第九図一	船ヶ谷遺跡 遺物と出土状況	18
第三図	古照遺跡 堰堤遺構	第一〇図一	船ヶ谷遺跡 土偶と右足と甕	19
第四図	天山谷墳出土鏡と谷町蓮華寺の石棺	第一〇図二	船ヶ谷遺跡 土器の諸相	20
第五図	福音寺遺跡 玉杖柄頭	第一〇図三	船ヶ谷遺跡 土器実測図	21
第六図	来住庵寺跡の遺構と遺物	第一〇図四	船ヶ谷遺跡 遺物出土状況と石片	22
第七図	先土器時代 ナイフ型石器と尖頭器	第一〇図五	船ヶ谷遺跡 木器、土偶・石偶類	23
第八図A	祝谷遺跡 細石器	第一〇図六	船ヶ谷遺跡 縄と網状遺物	24
第八図B	祝谷遺跡 実測図	第一〇図七A	船ヶ谷遺跡 石器実測図	25
第九図一	上野遺跡と縄文前期遺物	第一〇図七B	船ヶ谷遺跡 石斧と叩石 <small>たたき</small>	26
第九図二	上居墳の注口土器	第一〇図九一〇A B	木偶と実測	28
第九図三	道後の縄文土器片 その他の縄文諸相を示す土器片	第一〇図九一〇A B 第一〇図一〇四 第一〇図一〇五 第一〇図六〇七	久米山田池周辺石器 久米山田池周辺石器 鷹ノ子五郎兵衛谷遺跡 石器 久米山田池遺跡周辺の石斧	29 31 35 36

第一六〇一九	弥生後期土器の種々相	85	第一八四七	来住遺跡	廃寺土坑出土土器	107
第一六〇二〇	弥生後期の土器	86	第一八四八	来住遺跡	下層遺構と遺物	108
第一六〇二一	弥生後期終末の土器	87	第一八四九	来住遺跡	廃寺出土の土器	110
第一六〇二二	潮見ラドン温泉周辺の土器実測図	88	第一八五〇	来住遺跡	第三次の遺物	111
第一六〇二三	潮見ラドン温泉土器出土地情景	89	第一八五一	来住遺跡	竪穴住居址と遺物	112
第一六〇二四	城西の土器 西堀端と朝美	90	第一八五二	文京遺跡	古墳時竪穴と遺物	113
第一六〇二五	大峰ヶ台中腹出土狩猟図	91	第一八五三	文京遺跡	石器類	114
第一七〇一	西野I遺跡と縄文晩期土器	92	第一八五四	文京遺跡	石器類と分銅形土製品	116
第一七〇二	上野谷田I遺跡	93	第一八五五	文京遺跡	石鏃と砥石	117
第一七〇三	上野釈迦面山と西野III遺跡	94	第一八五六	中村遺跡	弥生中期中葉住居址	118
第一七〇四	西野III遺跡 住居址と土坑	95	第一八五七	山越遺跡	窓付きの土器と石器	119
第一七〇五	西野III遺跡 配石土坑墓	96	第一八五八	来住遺跡	弥生末期の遺構と土器	120
第一七〇六	西野III遺跡 土坑墓群	97	第一八五九	小坂遺跡	土器	121
第一八〇一	来住遺跡出土の石器	98	第一八六〇	小坂遺跡	えぶり土器	122
第一八〇二	来住の石斧類実測	100	第一八六一	小坂遺跡	平鍬出土状況	123
第一八〇三	来住の石包丁類実測図	102	第一八六二	小坂遺跡	杵穴材と木砧	124
第一八〇四	来住の石包丁類実測図	103	第一八六三	小坂遺跡	水源池の土器	125
第一八〇五	来住の石包丁類実測図	104	第一八六四	小坂遺跡	水源地の土器	127
第一八〇六	来住の石包丁類実測図	105	第一八六五	小坂遺跡	焼成遺構と遺物	130
第一八〇七	来住の石包丁類実測図	106	第一八六六	小坂遺跡	焼成遺構と遺物	131

第一二〇八	久米山田池と桑原の砥石叩石類	38	第一五〇九	石剣類II	石手寺と名田氏蔵	65
第一二〇九	久米山田池の石匙など	39	第一五一〇	石剣実測図と荏原の石器類		66
第一二一〇	久米山田池の石匙刃器類	40	第一六一	弥生前期の木葉状土器など		67
第一二一一	久米山田池の石棒その他	41	第一六二	弥生前・中期土器諸例実測図		68
第一二一二	久米山田池の石斧類	42	第一六三	県営総合運動公園出土遺物		69
第一二一三	磨製石斧類 竹本氏蔵	43	第一六四	道後冠山遺跡と遺物		70
第一二一四	平井谷周辺石器類 和田氏蔵	47	第一六五	潮見ラドン温泉遺跡 土器		71
第一二一五	観音寺周辺石器類 和田氏蔵	48	第一六六	潮見ラドン温泉遺跡 土器実測図		72
第一二一六	小野のクリス形石戈類 和田氏蔵	49	第一六七	弥生中期の土器 祝谷と上野		73
第一二一七	久谷の石斧類 荏原小学校蔵	50	第一六八	前・中期の土器と石器		74
第一二一八	久谷の石包丁 荏原小学校蔵	51	第一六九	中期の諸例 大峰ヶ台と東雲		75
第一二一九	津吉・関谷の石器類	52	第一七〇	東雲(勝山遺跡)の土器		76
第一二二〇	石剣・紡錘車類 名田氏蔵	53	第一七一	祝谷土居窪と文京との出土品		77
第一二二一	上一万の銅剣	54	第一七二	来住遺跡 中期前葉の施文		78
第一二二二	伝樋又出土の銅剣拓影	57	第一七三	中村遺跡 土器実測図		79
第一二二三	上一万などの銅剣実測図	58	第一七四	文京遺跡 土器実測図		80
第一二二四	湯築城などの銅剣拓影	60	第一七五	文京IIと勝山遺跡との高坏		81
第一二二五	西野などの銅剣実測図	62	第一七六	文京II愛大工学部新館の土器		82
第一二二六	伝樋又?出土銅剣と土居窪木剣	63	第一七七	周辺部の弥生文化と遺跡		83
第一二二七	石剣類I 荏原小学校蔵	64	第一七八	弥生中期土器の種々相		84

第四一図三	四かいなご古墳石室と遺物	352	第四五図三	久万の台二号墳と遺物実測図	389
第四一図五	八かいなご一号墳石室状況	354	第四五図四	六A・B 久万の台古墳遺物とその実測図	390
第四一図九	かいなご一・二号墳の遺物	358			
第四一図一〇	かいなご一・二号墳 遺物出土状況	359	第四五図七A	久万の台二号墳遺物と実測図	395
	玄室石積み	360	第四六図一	鷹ノ子タンチ山古墳一・二号	396
第四一図二一A・B	かいなご遺物と実測図	363	第四六図二	鷹ノ子タンチ山古墳一号箱式石棺と人骨出土状況	397
第四二図一	東野古墳群	364	第四六図三	四鷹ノ子タンチ山古墳一・二号石積み	398
第四二図二	東野古墳群周溝と勝山城腹の壊滅古墳	369			
第四二図三	五A・B 東野遺物と実測図	372	第四七図一	二松ヶ谷古墳の天井石と積石	400
第四三図一	三岩子山古墳出土の埴輪	373	第四七図三	四松ヶ谷古墳 玄室と遺物出土状況	402
第四四図一	三島神社前方後円墳外観	377	第四七図五	一三 松ヶ谷古墳 出土遺物その他	404
第四四図二	九三島神社前方後円墳の構造	381	第四七図一四	松ヶ谷古墳 出土遺物実測図	445
第四四図一〇	一 三島神社の円筒埴輪	383	第四七図二五	松ヶ谷一号墳 主体部実測図	414
第四四図二	三島神社石室俯瞰図と縦断面	384	第四八図一	五郎兵衛谷発掘全区地形測量図	415
第四四図三	三島神社排水溝と石室展開図	385	第四八図二	五郎兵衛谷一号墳実測図	416
第四四図二四	三島神社境内測量図と古墳の位置	386	第四八図三	五郎兵衛谷二号墳と出土遺物の実測	417
第四四図二五	経石山古墳と波賀部大塚実測図	387	第四八図四	五郎兵衛谷四号墳出土遺物	418
第四五図一	御産所一号墳石室展開図	388	第四八図五	七A・B 五郎兵衛谷一号墳出土遺物	449
第四五図二	久万の台一号墳と遺物実測図	389			

その他実測図

出土須恵器

第四八図八	鷹ノ子遺跡 竪穴式住居址実測図	424	第五二図二	副葬品の若干例 土壇原出土鉛鏃	450
第四八図九A・B	鷹ノ子遺跡 出土土器と実測図	425	第五三図一	二A・B 芝ヶ峰古墳の須恵器と実測	451
第四八図一〇B	鷹ノ子遺跡 石器実測図	427			
第四九図一	越智今在家住居址群と東山六号墳	428	第五三図三	七A・B 須恵器と実測図 名田氏蔵	455
第四九図二	六東山古墳群二・四・八号墳と遺物	429	第五三図八	一 二A・B 須恵器ほか実測図 小野	463
第四九図七	東山古墳群出土遺物	434			
第五〇図一	二西野一号墳実測図と展開図	435	第五四図一	青銅器類(三累環など) 名田氏蔵	471
第五〇図三	西野一号墳遺物	437	第五四図二	銅鏡と玉類 竹本氏蔵ほか	472
第五〇図四	西野二号墳石室展開図	438	第五四図三	拓 方格規矩鏡と振文鏡 竹本氏蔵	473
第五一図一	小野梅本古墳実測図	439	第五四図四	乳文鏡とその拓影 味生小学校蔵	474
第五一図二	古三津長谷奥古墳石室展開図	440	第五四図五	五鈴鏡とその拓影 味生小学校蔵	475
第五一図三	下伊台氷室谷古墳石室図	441	第五四図六	環頭 伝鷹ノ子天王ヶ森と伝播磨塚	476
第五一図四	古三津北山古墳石室展開図	442			
第五一図五	吉藤石うち古墳石室展開図	443	第五四図七	八装身具 名田・竹本氏蔵	477
第五一図六	衣山永塚前方後円墳	444	第五四図九	家形埴輪片 竹本氏蔵	479
第五一図七	鷹ノ子芝ヶ峰古墳群と出土遺物	445	第五五図一	久米来住庵寺第二次調査全測図	480
第五一図八	吉藤池ノ谷箱式石棺と合葬人骨	446	第五五図二	来住庵寺の心礎	481
第五一図九	一〇 畑寺五郎山箱式石棺人	447	第五五図三	五来住庵寺建物址実測図	482
第五二図一	副葬品の若干例 土壇原と伝播磨塚	449	第五五図六	一 一 来住庵寺出土軒丸瓦	485

第五五圖一二	来住廃寺出土鷗尾片	491
第五五圖一三	一四 来住廃寺址の軒丸瓦	492
第五五圖一五	来住廃寺址出土の土師式土器	494
第五五圖一六	一八 来住廃寺址を三面から見る	495
第五五圖一九	来住廃寺址第三次廻廊の南端部	498

第五六圖一	市内の廃寺出土古瓦	499
第五六圖二	朝生田廃寺の礎石と心礎	500
第五六圖三	小野大門寺の平瓦・丸瓦・鬼瓦片	501
第五六圖四	古瓦と谷田第一窯址	502

第二部 解説

第一章 概観

1	松山における考古的研究の歩み	505
	明治中葉以前の松山の考古界	505
	明治中葉後の遺物発見熱	506
	大正から終戦までの模索	506
	終戦後の遺跡遺構への関心	509
2	考古学的に見た松山の原始・古代	510
	原始・古代の時代区分	510
	先土器時代の石器類の発見	511
	縄文式土器文化と時期区分	515
	谷田池畔の上野縄文人と後期文化の点在	515
	船ヶ谷と晩期文化の拡散	516
	弥生という名の時代	516
	木葉状文土器の出る前期	517
	弥生中期の木鍬と分銅型土製品	518
	弥生後期の遺跡の拡がり	520
	後期社会の平形銅剣と農耕儀礼	522
	石剣と農耕共同体の拡大強化	523
	古墳時代とそれ以前の墓制	525
	古墳とその時期区分	526

古墳前期の松山	526
中期的な松山の古墳の盛期	527
古墳後期と群集墳	528
古代(奈良・平安)仏教文化への移行	529

第二章 各説

一 先土器時代	531
1 祝谷の丸山遺跡と遺物・細石器類	532
2 その他の旧石器出土地	532
二 縄文時代	532
1 上野(別名谷田II)遺跡の住居址と滑車型耳飾	532
2 船ヶ谷遺跡の晩期諸遺物	535
3 道後土居段遺跡と注口土器など	536
4 古照出土の縄文式土器	537
5 その他の縄文遺物包含地と遺物	539
三 弥生時代	539
1 越智町今在家の土壇墓と焼成遺構	541
2 冠山遺跡の多様な土器と吉藤の諸遺跡	542
3 西野III遺跡に見る土壇墓	543
4 その他未調査の弥生前期遺物包含地	546
5 道後土居窪(祝谷北代)遺跡の弥生中期の木器類	547
6 東雲神社境内の出土遺物	549
7 釈迦面山の円形住居址と方形土溝墓	550
8 谷田III遺跡と分銅型土製品	551
9 文京遺跡とその拡がり	551
10 西野(I・II・III)遺跡の弥生中期遺構	555
11 大峰ヶ台の高地性住居址	556
12 祝谷六丁目の土壇墓と住居址	557
13 来住廃寺の基盤下にみる土壇墓	559
14 天山天王ヶ森の土壇墓	563
15 五郎兵衛谷出土の中期遺構	563
16 一万市筋(道後今市)出土の銅剣一〇口	568
17 湯築城東麓出土の銅剣	570
18 桑原高井・小坂釜ノ口・東本遺跡の遺構様相	571
19 津田鳥越の製塩址と遺物	574
20 来住廃寺址より出土の遺物	577
21 松山北高校(文京III遺跡)の遺構	587
22 浮穴小学校の土壇墓と壺棺	587

23	土壇原複合遺跡	590	18	祝谷古墳の発展経過と遺構	663
四 古墳時代					
1	西石井荒神堂の遺跡	592	19	東野古墳群の遺構と遺物	665
2	衣山の永塚古墳	595	20	溝辺一・二号墳の遺構と遺物	665
3	津田弁天山鷲ヶ巣の山頂古墳	596	21	長谷奥古墳の遺構と遺物	672
4	星ノ岡遺跡(旗立、北下)の遺構	598	22	五郎兵衛谷古墳と三累環頭	673
5	古照の堰堤にみる生産遺構	607	23	西野一・二号墳	684
6	前川遺跡	621	24	桑原の経石山前方後円墳	688
7	福音寺・松末遺跡の建物址	623	25	御幸寺山古墳と有銘舶載鏡	689
8	上野の釈迦面山一、二号方墳	626	26	星ノ岡西山古墳の副葬品	690
9	三島神社古墳と埴輪列	627	27	平風山古墳と銅釧類	691
10	桜谷古墳群	636	28	津田山箱式石棺人と鏡	691
11	天山古墳と鏡	640	29	畑寺五郎山の石棺人骨	692
12	かいなこ古墳	641	30	吉藤池ノ谷の箱式合葬人骨	693
13	タンチ山古墳とトンボ玉	646	31	前方後円墳 波賀部の大塚	696
14	地下式の横穴式石室古墳	648	32	北久米の二つ塚と桜塚	697
15	松ヶ谷一号墳の遺物と遺構	649	33	久米芝ヶ峠古墳群	698
16	御産所一・二号墳の遺構と遺物	654	34	石手寺の中筋古墳群	699
17	久万の台一・二号墳について	657	35	播磨塚古墳群	700
			36	岩子山古墳と遺物	700
			37	谷田第一・二号窯跡と埴輪	701

五 歴史時代

1	国指定文化財の来住廃寺址	703
2	衣山瓦窯跡と遺物	729
3	北梅本悪社の窯跡など	733
4	道後姫塚の遺構と遺物	734
5	土壇原遺跡の館城遺構	736

付 録 (一)

松山市弥生・古墳時代参考資料一覧表 1~5

737

〔山都城考古関係研究報文並に参考文献〕

743